

三鷹市太宰治文学サロンにて開催中の企画展示

2013年9月16日(月・祝)まで

未完絶筆「グッド・バイ」



「グッド・バイ」は物語がまさにここから展開を迎える場面で、太宰の死によって未完となり、結末と共に意味深なタイトルが謎を呼ぶ三鷹時代の代表作です。「人間失格」を脱稿した太宰は三鷹に戻り、すぐさま「グッド・バイ」の執筆に取りかかります。「グッド・バイ」は太宰の死によって未完となりましたが、6月21日に「変心 一」が発表され、翌月の「朝日評論」に全文が掲載されました。



太宰の死後に「グッド・バイ」全文が掲載された、「朝日評論」(昭和23年7月)

～「グッド・バイ」あらすじ～

闇商売で儲け、表向きは雑誌編集長の顔を持つ田島周二は、田舎の妻子を呼び寄せて闇商売からの脱出と愛人達との別れを画策します。その方法は、愛人達を圧倒させる美女を連れて、彼女たちに縁切りを迫るものでした。田島は永井キヌ子という無類の美人にその役を頼みますが、彼女に田島は翻弄されます。

太宰の葉書を公開！

1点は書物展望社への原稿依頼に対する返信葉書、もう1点は昨年山本直英氏のご遺族から三鷹市に寄贈された、野田宇太郎(詩人・文芸評論家)に宛てた三鷹の自宅へ案内する地図が記された葉書です。いずれも太宰の手によって三鷹市下連雀の住所が書かれています。

他にも、太宰手製の「三鷹自宅の表札」(個人蔵)や、実際に使用されていた「桜桃忌遺影」(2009年津島園子氏寄贈)、初版本、初出雑誌などを展示しています。

※資料保存のためレプリカを展示しています。



新作グッズを販売開始しました！



桜桃忌にあわせて財団の新商品(グッズ)として「太宰治クリアファイル」を販売開始しました。林忠彦氏撮影によるバー・ルパンでの太宰の写真を載せたクリアファイルです。他にも一筆箋やしおりといった様々なグッズをそろえております。

太宰治クリアファイル

【サイズ】

A4

【色】

クリア(透明)、ピンク、グリーン

【価格】

300 円(各色共通)

【販売】

サロンおよび財団ホームページの通販サイト

(<http://www.mitaka.jp/store/>)にて販売

しています。



(公財)三鷹市芸術文化振興財団

三鷹市太宰治文学サロン

東京都三鷹市下連雀 3-16-14 グランジャルダン三鷹 1 階

電話：0422-26-9150

開館時間：10 時～17 時 30 分

入 場 料：無料

休 館 日：月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌日と翌々日を休館)



JR 三鷹駅南口より徒歩 3 分